

外部人材や地域の教育資源の活用を図る土曜授業のモデルカリキュラム（厚真町立厚南中学校） 学級数4（うち、特別支援学級1）生徒36名

〔子どもの姿〕

- 全国学力・学習状況調査等の結果から、自己有用感が低く、自分に自信がもてないことに課題がみられている。
- 学習活動や決められた活動には真面目に取り組んでいるが、主体的に取り組む態度に課題がみられる。
- 明るく素直な生徒が多いが、小規模校ゆえに多様な考え方に触れる機会が少ない傾向にある。
- 保護者や地域住民と積極的に関わり、挨拶や礼儀など、基本的な生活習慣を身に付けている生徒が多い。

〔本校における土曜授業のねらい〕

P T A 主催の行事や外部人材を有効に活用することにより、多様な人とのよりよい人間関係を構築する力を身に付ける。

〔目標指標〕

多様な考えに触れ、それを認め合う中で、お互いを高め合い、いじめ〇の学校づくりを目指す。

〔地域の実状〕

- 本校は、厚真町南部に位置し、本校を中心に各集落が広がっており、通学区域は広く、ほとんどの生徒が、バス又は自転車で通学している。
- 地域の南側に火力発電所、西側に石油備蓄タンク群などがある一方、平地には水田・畑・草地在り、保護者には、農業関係従事者が3割ほどを占めている。
- 地域住民の教育に対する関心は高く、地域住民が部活動やP T A活動など学校の教育活動に対して、積極的に支援や協力を行っている。

P T A 行事や外部人材の有効活用 の実際

P T A 行事は、一昨年度まで日曜日に実施していたが、土曜授業として実施することにより、めあてや活動を振り返る時間を保障することができ、子どもたちが活動に達成感・成就感をもつことができるよう工夫している。

また、外部人材を有効に活用するために、情報教育や防災など、学校教育を取り巻く喫緊の課題を取り上げるとともに、地域や保護者にも参加を呼びかけ、学校と家庭・地域が一体となって課題解決に向けた取組となるよう工夫している。



【古紙回収による地域の方との触れ合い】

〔カリキュラムの工夫〕

期日	学習内容の工夫	教育環境の工夫
4月16日（土）	○ 学習参観日の実施	○ 学校支援地域本部の活用 ・校地内環境整備（5月21日）
7月上旬 7月17日（土）	○ 古紙回収の事前指導 ・回収グループ決定、回収場所事前確認 ○ 古紙回収の実施 ・作業を通した様々な人に対応するコミュニケーション能力の育成 ・めあてを設定する時間や活動を振り返る時間の保障	○ P T A 専門委員会の開催 ○ 学校関係者評価委員会の開催 ・学校運営に関する前期のまとめと後期の運営に関する意見交換 ○ 土曜授業アンケートの実施
8月20日（土）	○ P T A 行事（親子レク）の実施 ・様々な人との交流を通したコミュニケーション能力の育成 ・めあてを設定する時間や活動を振り返る時間の保障	○ P T A 専門委員会の開催 ○ 地域の施設や産業を活用した体験活動 ・勤労体験（8月23日、24日） ・地場産業体験（8月24日） ・福祉体験（8月24日、31日）
10月29日（土）	○ 情報安全教室の実施（参観日実施） ・保護者にも参加を呼びかけ、情報安全に関わる意識の啓発	○ 外部専門講師の招聘（情報メディア） ○ 地域の施設や産業を活用した体験活動 ・福祉体験（11月10日）
12月10日（土）	○ 防災教室の実施（参観日実施） ・保護者にも参加を呼びかけ、防災に関わる意識の啓発	○ 土曜授業アンケートの実施 ○ 外部専門講師の招聘（防災） ○ 学校関係者評価委員会の開催 ・年度のまとめと次年度運営の意見交換



【P T A 行事による親子の触れ合い】

本カリキュラムのポイント

- ◆土曜授業のねらいの共有
・全教職員及び保護者等とねらいを共有
- ◆地域の実情や社会の要請等に基づくカリキュラムの編成
・学校関係者評価委員からの意見や生徒の実態・要望を参考に編成
- ◆学習内容と必要な人的・物的資源等の関連
・外部人材の有効な活用

外部人材や地域の教育資源の活用を図る土曜授業のモデルカリキュラム（登別市立幌別中学校） 学級数9（うち、特別支援学級2）生徒211名

〔子どもの姿〕

- 全国学力・学習状況調査等の結果から、自分が住んでいる地域の行事への参加、地域で起こっている問題や出来事に対しての関心が4割程度と高くはない。
- 地域や社会への関心が高くないため、地域の人やもの、ことを理解していない割合も6割程度である。
- 土曜授業推進事業におけるアンケートでは、「色々な話を聞いたり、触れ合ったりすることができた」「色々な体験をすることができた」と実感している生徒の割合が、昨年度より1割増えた。

〔本校における土曜授業のねらい〕

保護者・地域の人材等を効果的に活用し、「コミュニティ・スクール事業」との連携を図るなど、生徒の活動や体験的な活動を活性化させることにより、土曜授業に多様性と機能性をもたせる。

〔目標指標〕

土曜授業に地域住民が積極的に関わることにより、地域で起こっている問題や出来事に対して関心があると回答する生徒の割合を8割以上にする。

〔地域の実状〕

- 保護者・地域住民は、学校の教育活動について、関心をもっている。
- 平成26年度に、学校支援地域本部、地域教育協議会、児童民生委員、町内会役員で構成する学校運営協議会を組織し、コミュニティ・スクールとして学校運営の充実と改善を図っている。
- 地域教育協議会が組織されていることにより、校区の小中学校2校とも連携して、児童生徒に様々な体験をさせる取組を継続している。

土曜授業とコミュニティ・スクール事業の併用の実際

地域と協働で取り組む「田植え体験」や「合同避難訓練」など、平日の授業では体験できない活動を位置付け、推進している。

田植え体験では、町内会や小学校と打合せを行い、信頼関係を築くなど、学校と地域が一体となった取組を進めている。



【地域と協働で取り組む田植え体験】

災害時には自分の命を守ることはもちろんのこと、地域を守る担い手の一人として役割と責任がもてるよう合同避難訓練を実施している。



【地域と協働で取り組む合同避難訓練】

〔カリキュラムの工夫〕

期日	学習内容の工夫	教育環境の工夫
4月16日（土）	○ 通常授業、PTA総会（学校説明会）の実施 ・通常授業は教育課程に沿った内容 ・学校説明会にて土曜授業のねらいの共有や計画の説明	○ 学校運営協議会においてねらいと内容の共有 ・学校運営に関する承認と方向性等に関する協議 ○ 全国学力・学習状況調査の結果分析と指導の改善
5月28日（土）	○ 通常授業、地域と交流し、体験を通しコミュニケーションを図る力を育む花壇整備、田植え体験活動の実施 ・小学校、保護者や地域住民が合同で実施	○ 地域教育協議会とのねらいや内容の検討 ・田植え体験準備（4月25日・5月14日・22日）※稲刈り10月、収穫祭11月
6月25日（土）	○ 通常授業、中体連報告会の実施 ・保護者や地域住民に公開	○ 土曜授業推進事業第1回アンケート（生徒・保護者）
7月16日（土）	○ 通常授業、ありがとう集会の実施 ・保護者や地域住民に公開	・アンケート結果から取組の成果等を検証
8月27日（土）	○ 通常授業、学校祭事前集会の実施 ・保護者や地域住民に公開	○ 町内会と小学校、本校との合同会議（8月下旬と9月中旬）
9月10日（土）	○ 通常授業、学校祭合唱中間発表会の実施 ・保護者や地域住民に公開	
10月1日（土）	○ 通常授業、自分の命を守るとともに、地域に貢献する力を育てる合同避難訓練の実施 ・小学校、保護者や地域住民が合同で実施	○ ねらいを踏まえ、中学生が担う役割と分担を指導 ○ 自分の担当箇所を実地指導（9月下旬）
11月5日（土）	○ 通常授業、校内主張大会の実施 ・保護者や地域住民に公開	○ 土曜授業推進事業第2回アンケート（生徒・保護者）
12月17日（土）	○ 通常授業、ありがとう集会 ・保護者や地域住民に公開	・アンケート結果から取組の成果等を検証
1月21日（土）	○ 通常授業、歴史や所作を学び、心を落ち着け自身の進路に向かう意欲を育む茶道体験（3年）の実施 ・地域住民が講師となり実施	○ 地域町内会茶道サークルとねらいについて協議（12月中旬）



【茶道サークルの方を講師とした茶道体験】

本カリキュラムのポイント

- ◆土曜授業のねらいの共有
・学校だより・CSだよりにて全職員や保護者・地域住民とねらいを共有
- ◆各種調査やデータ等に基づくカリキュラムを編成
・全国学力・学習状況調査の結果分析や土曜授業推進事業に係るアンケート結果に基づき、生徒に身に付けさせたい力を設定
- ◆地域の人的・物的資源等の教材化
・学校支援地域本部や地域教育協議会と人材や教育資源の活用を検討
・地域の資源等の発掘や学習内容の関連性を定期的に検証

【子どもの姿】

- 本校の生徒は、平成27年度1月実施の土曜授業推進事業におけるアンケート「土曜日は、地域の行事などに参加するようになった。」の質問において、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した生徒が31.5%であった。
- 平成28年度全国学力・学習状況調査生徒質問紙「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」の質問において、「参加したことがある」と回答した生徒が20.0%で全国平均を下回っていた。
- 平成28年度全国学力・学習状況調査生徒質問紙「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」の質問において、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒が80.0%で全国平均を上回っており、地域の出来事に関心がある生徒が多い。

【本校における土曜授業のねらい】

地域の自然、人材を活用した学習活動の充実により、
地域への興味・関心を高める。

【目標指標】

- 土曜授業推進事業におけるアンケート「土曜日は、地域の行事などに参加するようになった。」の項目において、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答する生徒の割合を50%以上にする。
- 全国学力・学習状況調査生徒質問紙「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」の質問において、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合を100%にする。

【地域の実状】

- 保護者、地域住民は、学校の教育活動について、大変協力的である。
- 平成27年度1月実施の土曜授業推進事業におけるアンケート「学校の教育活動がわかるようになった。」の項目において、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した保護者の割合が49.0%であり、より一層理解を深める必要がある。
- 学校支援地域本部事業の地域ボランティアを活用し、地域と連携した取組を推進している。
- 陸別町教育委員会と学校支援地域本部が連携し、ふるさと教育の充実を推進する体制づくりが図られている。

【銀河の森天文台】職員による出前授業の実際

事前学習と事後学習を位置付け、土曜授業が単なる活動で終わらず、土曜授業のねらいを達成できるようにしている。

【準備】

- ・人材バンクを活用し、陸別町の銀河の森天文台職員へ講師依頼をしている。
- ・土曜授業特別チームと学校支援地域本部が連携し銀河の森天文台職員と打合せを行っている。

【事前学習】

- ・地球と宇宙に関する既習事項を想起し、銀河の森天文台について建設された経緯や役割等を学んでいる。

【土曜授業（銀河の森天文台職員による出前授業）】

- ・陸別町の夜空の説明の後、「見えない宇宙線を見てみよう」という学習課題のもと、宇宙線を観察し、生徒からは、「陸別町の澄んだ夜空のよさを再確認した」「普段では絶対に見ることができない宇宙線を見ることができた」などの感想が聞かれ、陸別町の魅力を再確認している様子が見られている。

【事後学習】

- ・授業を通じて気付いたことやもっと調べたいと思ったことを視点にお礼の手紙を書いている。

【取組の発信】

- ・土曜授業特別チームが土曜授業の様子等を掲載した学校便りを作成し、家庭及び地域への配付を通じて、生徒の成長を共有し、保護者や地域住民の理解と参画を得られるようにしている。



【天文台職員の出前授業】

【カリキュラムの工夫】

期日	学習内容の工夫	教育環境の工夫
5月6日（金）	<p>陸別町の産業の魅力を実感する「陸別町商工会」会員による職業講話（全学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事前学習 <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間において、働くことの意義等についての課題意識を醸成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講師との情報の共有 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の課題意識を把握し、講師との打合せの資料とする。 ・生徒が陸別町で働くことの魅力や講師の職業人としての誇りに気付けるような講話となるよう講師との打合せを十分行う。
5月13日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土曜授業 <ul style="list-style-type: none"> ・陸別町商工会会員による陸別町内の産業や、その魅力についての職業講話を実施する。 ・保護者、地域住民と講話から考えたことや感想を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者や地域住民の参加 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が保護者や地域住民と考えたこと、意見や感想を交流する場を設定し、地域の産業についての自分の考えを広げたり、深めたりできるようにする。
5月14日（土）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事後学習 <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を振り返り、講師へお礼の手紙を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭や地域への情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・学校便りで、本授業の様子や生徒の変容を発信し、生徒の成長を共有する。
11月21日（月）	<p>陸別町の星空の魅力を実感する「銀河の森天文台」職員による出前授業（全学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事前学習 <ul style="list-style-type: none"> ・理科において、地球や宇宙に関する既習事項を振り返り、陸別町の星空についての興味・関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の施設の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・「銀河の森天文台」が建設された経緯や役割等についてふれ、「星空の町」としての陸別町に興味・関心を高める。
11月25日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土曜授業 <ul style="list-style-type: none"> ・銀河の森天文台職員による陸別町の星空についての説明を聞き体験活動を行う。 ・保護者、地域住民の参加及び生徒との感想を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・銀河の森天文台職員による説明や、宇宙線を観察するという体験活動を通して、陸別町の星空の魅力を実感する。
11月26日（土）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事後学習 <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を振り返り、講師へお礼の手紙を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭や地域への情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・学校便りで、本授業の様子や生徒の変容を発信し、生徒の成長を共有する。
11月28日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事後学習 <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を振り返り、講師へお礼の手紙を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭や地域への情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・学校便りで、本授業の様子や生徒の変容を発信し、生徒の成長を共有する。



【町内の産業やその魅力についての職業講話】

本カリキュラムのポイント

- ◆ 平日の学習では体験できない活動の位置付け
 - ・土曜日だからこそ招聘できる地域人材を講師にすることによる体験活動等の充実
- ◆ 地域人材等を活用した陸別ならではのカリキュラムの編成
 - ・地域の教育資源を有効に活用し、地域住民との協働的な取組を実施
 - ・学校支援地域本部の人材バンクを活用
- ◆ 土曜授業のねらいや成果の共有
 - ・土曜授業の成果等を学校便りで発信し、土曜授業のねらいや、生徒の成長を保護者や地域住民と共有